

郡山ユースカウンスル 2026 実施要領

1. 概要

- (1) 目的：こどもが社会との関わりを深めながら、課題発見・解決型学習を体験し、主体的に社会の形成に参画、持続的社会的発展に寄与する人材の育成を図ります。ワークショップで発表された内容については、関係所属や各学校と共有し各施策への反映を促します※。
- ※令和5年4月に施行された「こども基本法」により、こども施策にこどもや若者の意見を反映する措置を講ずることが義務付けられています。
- (2) 開催時期：【1日目】令和8年8月17日（月）
【2日目】令和8年8月18日（火）
- (3) 場所：郡山市役所 本庁舎2階 正庁（ワークショップ）・特別会議室（グループ発表）を想定
- (4) 主な内容：①1日目 顔合わせ、教育環境の現状などをクイズ形式で学習、
ワークショップ、グループ発表資料の作成
②2日目 ワークショップ、グループ発表
- (5) 参加者：小学生24名（市内小学校から推薦にて1名選出）
- (6) モデレーター・メンター：モデレーターは大学教授等、大学生メンター6名（教職課程の大学生）を各グループ1名配置します。

2. モデレーター

福島大学 人間発達文化学類

教授・博士（教育学）坂本^{あつし} 篤史氏



- (1) 専門分野：教育方法学、授業論、教師論
- (2) 研究内容：小中高等学校での授業研究と教師の学びについて研究
- (3) その他：OECD（経済協力開発機構）ラーニングコンパス（学びの羅針盤）2030 仮訳作成メンバー、市立芳山小学校や金透小学校、橘小学校での公開研究会や安積黎明高校や安積高校での社会活動も多数行っています。

3. プログラム

【1日目】令和8年8月17日(月)

時間	次第	内容
8:30-9:00 ^(30分)	開場・受付	郡山市役所 本庁舎2階 正庁
9:00-9:10 ^(10分)	開会・導入	開会(司会)・挨拶(教育長)・導入(モデレーター)
9:10-9:45 ^(35分)	グルーピング	児童自身がテーマを選んだ後にグループ分けを行いました。
9:45-9:55 ^(10分)	休憩	
9:55-10:25 ^(30分)	アイスブレイク	
10:25-10:40 ^(15分)	クイズ	
10:40-10:50 ^(10分)	休憩	

10:50-12:00 ^(70分)	ワークショップ①	テーマ毎にグループディスカッション(テーマ決定)
12:00-13:00 ^(60分)	昼食休憩	メンターを中心に発表資料作成
13:00-14:00 ^(60分)	ワークショップ②	ワークショップ①の続き
14:00-15:30 ^(90分)	グループ発表資料作成	メンターを中心に発表データ作成
15:30	閉会	閉会(司会)

【2日目】令和8年8月18日(火)

時間	次第	内容
9:30-10:00 ^(30分)	開場・受付	
10:00-10:15 ^(15分)	開会・導入	開会(司会)
10:15-10:20 ^(5分)	ワークショップ③	前日の振り返り
10:20-12:00 ^(100分)	グループ発表準備①	各グループで役割分担、リハーサル
12:00-13:00 ^(60分)	昼食休憩	
13:00-13:30 ^(30分)	グループ発表準備②	
13:30-15:00 ^(90分)	グループ発表・総括・講評・提言・写真撮影・閉会	各グループ×5分程度、各グループ発表後に質疑応答、全グループ発表後にモデレーターから講評、齊藤副市長並びに教育長から感想、児童から齊藤副市長並びに教育長へ提言書提出、写真撮影

4 ワークショップの進め方

- (1) 提出された事前課題シートを参考に事前にテーマを決定しました。どのテーマに取り組むのかは、当日児童の皆さま御自身に選んでいただき、グループ分けを行いました。
- (2) 各グループ、テーマを設定し、それぞれの「①いいところ」「② 良くしたいところ」「③郡山市に提言したいこと」を話し合いました。
- (3) 話し合った結果をグループ毎に発表し、共有しました。